

広報 伊方町

発行所 伊方町
愛媛県西予郡伊方町湊通
〒796-03 伊方局8-0211
編集 務課
印刷 務課
社 豊
八幡浜市松栢 22-0144

今月の紙面

- 二面……八十三年町の十大ニュース
地区自治促進制度がトップ
- 三面……伝説「神のお告げで人助け」
わたしたちのこの一年
- 四面……五十九年奨学生募集
健康の窓「風邪」

大きいの食べたい

たき火囲み

焼き芋楽しむ

九町

「この大きい食べたい」こればかりのだから名前書いて……。
九町保育所米沢千賀子所長「園児八十二人」で十一月二十
九日、園の畑から収穫したばかりのさつま芋で、焼き芋を楽しみ
ました。

この日は昼すぎから遊び場
の大掃除、みんなでたき木を
拾ったり、くま手で落ち葉を
いっばい集めていました。た
た。

さつま芋は六月に植付け
て、子供たちといっしょに
肥料をやったり、草引きをし
て育てました。
芋掘りにもみんなで出かけ
ました。園児全員が入り切れ
ないほどの狭い畑から、コン
テナにいっばい取れました。
泥だらけになりながら、ス
コップと手で必死に掘る子供
たち。「先生、これ大きいよ」と、
と、ほこらしげに差し出す顔
はさわやかです。
ふだん消極的な子供がはしゃ
いだり、さわいだり、教室で
は見られない表情や態度もう
かがえ、あ、よかったと思
わす胸をなでおろしました。
元気に遊ぶ姿こそ、わたした
ちの心の支えなのです。

自然の恵みに

米沢千賀子さん

(九町保育所長)

みんなで作物を育て、みん
なで収穫して、みんなで食べ
る喜び、なんとすばらしいこ
とでしょう。
大人だって楽しいし、子供
たちも大喜びです。
九町保育所でも五年前から
保育所の空地を利用して、春
は草花、夏は野菜、秋にはさ
つま芋を作っています。子供
たちが、自然の恵みを肌で感
じ取ってほしかったからです。



大きな芋を口いっぱい

保育所の広場で焼き芋を楽しむ子供たち

役場業務

ゴミ収集は三十日まで

十二月二十九日から一
月三日までの六日間は、
年末年始につき役場業務
は休みです。
ただし、ゴミ収集業務
は十二月三十日まで、戸
籍の一部受けは次の要
領で行いますので申し出
てください。

戸籍の届出

住民票や印鑑証明書の
交付などの戸籍業務は休
みですが、死亡届や出生
届などは届日直者が受付
けます。役場または町見
支所へ申し出て下さい。
特に死亡届は、火葬と
の関係がありますので早
めに届出てください。届
出の際には死亡診断書・
印鑑・年金証書・保険証
などが必要です。

ゴミ収集

年末のゴミ収集は、十
二月三十日(金)までで
す。三十一日から一月三
日まで休みです。その日
出さないようにご協力く
ださい。
なお、一月四日(水)
は町内全域の収集を行い、
五日からは各家庭に配布
している計画表に基づい
て行います。きれいな町
で、さわやかな年を迎え
ましょう。
年末年始の収集日程は
下表のとおりです。

月日	収集時間	収集地	区
12月29日(休)	計画表に基づいて行います	湊浦一、二、小中浦、伊方越、亀浦、中浦、川永田一、二、奥、向、畑、須賀、久保、西、二見、加周、田之浦、古屋敷、大成、鳥津、九町越	
12月30日(休)	午前中	町内全域	
	12月31日(休)	1月3日まで	収集休みです
1月4日(休)	午前中	町内全域	

広報センター

伊方町民会館の一階と
二階にある伊方原子力広
報センターは、十二月三
十一日と一月一日だけ休
館いたします。そのほか
は開館しています。そのほ
か気軽にご利用ください。

急病のご案内

急病のときは、まず、
係つけの医師にご相談く
ださい。九町及び加周診
療所は十二月二十八日午
後から一月三日まで休診、
四日は午前中診療、五日
からは平常とおりです。
八幡浜市立総合病院の
救急センターは、十二月
三十一日と一月二日が当
番になっています。

地区自治制度がトップ

次いで町民会館落成記念行事など

今年発行した広報紙や町の事業などから「町の十大ニュース」と題して順位をつけてみました。トップは地区自治活動促進制度、次いで町民会館落成記念行事、九町診療所開業の順になりました。皆さんの家庭や地区内ではどんなニュースがありましたでしょうか。



③九町診療所が開業
町見地区に待望の町営診療所が完成。愛媛医学部から清水秀和医師を迎え四月開業した。最新式の医療機器を備え、町営施設としては郡内一を誇る。所長は栗田医師にお願いし、加周診療所も町営になった。

②町民会館落成記念行事
一月十五日から一週間にわたり町民会館落成記念行事が行われた。水前寺清子ショーには二日間四回公演で約三千人、荒川博さんの講演会に四百人など合計五千六百人が落成を祝った。

①地区自治活動促進制度
全国初の制度として二月スタート。五十七年度一億七千万円を各地区ごとに区分して基金積立て、事業ごとに補助金として交付する制度。五十八年度も一億七千万円積み立てられた。

3町の10大ニュース

⑥カラカラ天気が続く
七月から八月にかけてカラカラ天気が四十一日間も続いた。このため役場と農協に干害対策本部が設置された。町内では伊方大川と亀ヶ池、それに保内町からも取水運搬が行われた。

⑦夏の高校野球県大会で
川の石高校が準優勝
夏の高校野球愛媛県大会で川の石高校が準優勝。本町出身選手が大活躍した。決勝戦の川の石高校戦には本町からも大応援団が駆けつけたが四対七で惜敗した。

⑧原子力広報センター法人化
伊方町民会館の一階と二階に設けられていた原子力広報センターが法人化。四月から本格的な運営が始まり、土曜日の午後や日祭日も開館することになった。

⑨豊之浦小と有寿小に体育館
豊之浦小学校と有寿小学校に体育館が完成した。両校とも鉄筋コンクリート造り平屋建てで五百平方メートルあり、バレーボールなどができる。

⑩広報が二百五十号に
広報「伊方町」が、昭和三十年七月に第一号を発行してから二十八号、今年六月号で二百五十号を迎えた。



主なできごと

- 【一月】
 - 九日 新春マラソン大会で河内チーム優勝
 - 十五日 愛媛県知事選挙
 - 十五日 成人式を挙行。八十六人が大人の仲間入り
 - 十五日・二十二日 町民会館落成記念行事を開催 (水前寺清子ショー・荒川博講演会他)
- 【二月】
 - 一日 老人保健制度スタート
 - 五日 第四回健康づくり推進大会開く
 - 十一日 町内一周駅伝大会で大浜チーム優勝
 - 十四日 地区自治活動促進制度スタート
 - 二十日 豊之浦小学校体育館完成
 - 二十八日 湊浦公営住宅「ワキ団地」完成
- 【三月】
 - 六日 消防出初式を町見中学校グラウンドで挙行
 - 八日 ビックヒカの一年生百四十二人が小学校へ入学
 - 十日 有寿小学校体育館完成
 - 十八日 伊方発電所二号機が第九十一回電源開発調整審議会で昭和五十七年度の国の基本計画の中に追加することが承認された。
 - 二十六日 向「中道団地」、川水田「長畑団地」が完成
- 【四月】
 - 一日 財団法人伊方原子力広報センターが発足。本格的な運営開始
 - 三日 第三十三回自醸酒評会で田中吉幸さんの「初鷹」が一位に
 - 二十四日 町長・町議会議員選挙(町長無投票)
 - 二十五日 九町診療所が開業。加周診療所も町営施設に
- 【五月】
 - 十五日 伊方体協の相撲大会で仁田之浜チーム優勝
- 【六月】
 - 十八日 青年団演芸大会開く
 - 二十日 広報「伊方町」が創刊から二百五十号に
 - 二十六日 参議院議員通常選挙
- 【七月】
 - 十六日 第一回伊方つ子まつり開催。六百五十人が参加
 - 十七日 NHKラジオ「民謡をたずねて」の公開録音で鎌田英一他来演
 - 三十日 夏の全国高校野球愛媛県大会で川の石高校が準優勝。町出身選手が大活躍
- 【八月】
 - 七日 町消防団法政大会で第八分団(小型)、第十四分団(自動車)が優勝
 - 二十三日 カラカラ天気(四十一日)が続き役場内に干害対策本部を設置
- 【九月】
 - 三日 年齢別ソフトボール大会で川水田一チームが優勝
 - 十五日 お年寄り一千四百人が敬老の日祝う

民話と伝説

原 文 / 伊方町誌
補 作 / 岡村 豊
挿 絵 / 宇都宮利久(前伊方小教頭)

神のお告げで人助け

九 町

だいぶ前になります。あれは冷やかっただけ、冬ごろでした。広島県のあるところ、伊方町。ある神社の宮司さんという、品のええ老紳士が九町を尋ねて来なつたことがあります。

その職についていると話しておんなはつたなあ。そこで、その宮司さんが、神社の古い記録を調べよなはつたら、「いつのころか村人が、伊方の国は二間津浦(今の三崎町二名津)へ魚の買い出しに行つたその帰途に、周防の国(今の山口県東部)大島郡あたりに戻ると暴風雨となり、伊方浦を漂流しているうちに、九町という海岸に打ち寄せられ難破沈没の一步前というときに、浦人に救助され無事に帰村することができた。これ全く神のお加護である、村人

たががこの神社を建立した」と書いてあったことから、「九町越ほどの辺ですか」と尋ねて来なはつたというわけ。すうと、その神社の縁起書を持って来ておんなはつたので、さうそく見せてもらいました。

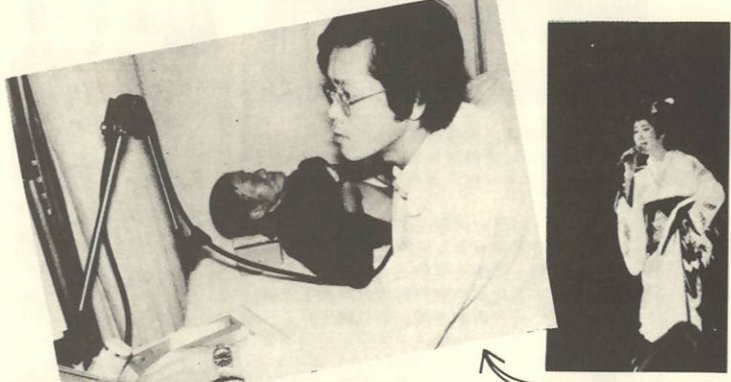


九町浦の八幡神社
神紋 左三つ巴
延喜一年(九〇二)に一漁夫が、宇佐八幡宮の神霊を受け、浦人らと計つて宇佐八幡宮を奉告したという。明治二十七年八幡神社と改称する。

あきらめ、寝につくと、再び枕神が立つた。今度は、宮司も村人をおおせい呼び集め、「再び神のお告げがあった。すぐ救助に行つてくれ」と話した。宮司の言葉に村人も

難船の人々は、厚く村人たちに礼をし無事に戻り、九死に一生を得たので神社を建立した。その縁起書に書いておんなはつたので、さうそく見せてもらいました。

これは、ちょうど日本の歴史や記録にないことが、魏書(きやうしよ)二十四史の一つや、唐書(とうしよ)に日本の話しを書いてあるがどうも似たります。いふなあ。



④町長・町議会議員選挙
四月二十四日町議会議員選挙が行われた。定員十八人に對し十九人が立候補。激しい選挙戦が繰り広げられ、投票率は九六・四三パーセントにも上つた。町長選挙は無投票となり、福田直吉氏が就任した。



⑤灘地区畑かん事
業起工式
野村ダムからの水を農業用水として活用する畑地かんがい事業。このうち灘地区の本格工事が始まつた。総事業費十一億一千万円で、六十四年度完成の予定。



二十八日 台風十号が接近。二日間四百四十の雨量と最大瞬間風速二十九を記録
【十月】
九日 町民運動会を開催
十三日 灘地区畑地かんがい事業起工式
二十三日 第一回町見地区トボール大会で奥チーム優勝
【十一月】
二・三日 第八回伊方町文化祭開く
六日 歩け歩け運動に八百人参加。九町越公園まで健歩
【十二月】
十八日 衆議院議員総選挙

わたしたちの二年

町の治安維持にご活躍の伊方・町見駐在所の三人の警察官のかたに、今年一年をふり返っていただきました。



石村隆彦 巡査部長 (町見・27歳)

「豚かいなくなつたんですが...、今年3月に町見駐在所へ来て最初の仕事の事でした。もう一つ驚いたことに、留守の家の玄関にカギがかかっていたこと。松山に居たせいか、人の心の温かさを感じますが、無用心です。戸締りをお忘れなく!!
地区の行事にも参加したいと思っています。さそってください。



金子 仁 巡査 (伊方・25歳)

伊方駐在所勤務になって1年9ヵ月。皆さんのご協力で大した事故もなく感謝しています。ただ、交通事故が今にも起こりそうな状況を見かけます。ミニバイクに子供を乗せて走ったり、青空駐車が多いこと。ご注意を!!
今年には長男が生まれたり、自分にとっても良い年でした。事故のない町づくりにご協力ください。



玉井祥隆 巡査 (伊方・24歳)

先月28日付で伊方駐在所勤務になりました。警察官1年生ですが、厳しさの中にも親しみのある警察官になりたいと思っています。よろしくお願いたします。
1つ気がついたことは、夜間無灯火の自転車を見かけます。危険ですからご注意—
剣道に多少心得があり、いっしょに練習したいと思っています。

町奨学金受け開始

希望者は一月末日までに

町教育委員会では、昭和五十九年度の「奨学生」を募集しています。高校または大学へ進学されるかたで、奨学金の貸付を希望されまされたは次の要項で申し込んでください。

▽人物・学業ともにすぐれ、健康であり、学資金の負担が困難であると認められる人。

▽保護者またはこれに準する家族（成人者に限る）が町内に居住していること。

▽貸付月額……一万円
 高等学校……一萬五千元
 高等専門学校……一萬五千元
 県立職業大学……一萬五千元
 一般大学……一萬五千元

【貸付期間】
 昭和五十九年四月から進学学校の正規の修業期間

【返還方法】
 貸付金は無利子です。貸付が終了して六カ月が経過した後、十五年以内に返還していただきます。

【手続き方法】
 町教育委員会が定める「町奨学生願書」に必要な事項を記入し、在学している学校長の推薦書添えて、町教育委員会へ提出してください。申請用紙は、町教育委員会及び町内の中学校、川之石八幡浜税務署長表彰を受けました。



健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

風邪対策

肌寒い季節になりました。寒さの到来とともに増えるのが風邪患者。頭痛・発熱・くしゃみ・鼻づまりなど風邪の症状を訴えて病院の待合室が混雑し始めるのもこのころ。一説には、風邪は「病気でない。などといわれたりしますが、風邪を引いたときの苦痛と不快感は、なんともいやなもの。いやな思いをしないためには、風邪を引かない工夫が必要です。

【風邪を引かない工夫】

- ◇偏食をしない……寒さのために低下した新陳代謝の働きを高めるために、バランスよく食事を取ることがたいせつです。
- ◇じゅうぶん睡眠を取る……睡眠は一日の心身の疲れを取る最良の方法です。
- ◇体を鍛えよう……寒さは体の血管を締め、各機能の活動を低下させます。生活の中に運動を取り入れましょう。
- ◇厚着の習慣をつけない……寒いからと、いつも厚着や重ね着をするのは良くありません。むしろ風邪に対する抵抗がなくなったり、肩こりの原因になります。汗をよく吸い取る下着を身に付け、こまめに取り替える方が効果的です。
- ◇うがいをする……外から帰ったら、すぐ、うがいをしましょう。ウイルスやバイキンの侵入防止に役立ちます。



ぞくぞくときたら要注意です。日ごろから、それぞれの体力に合わせた積極的な風邪対策を！

政木さん青申で

八幡浜税務署長表彰

青色申告の普及育成に関する功労で後援の政木吉春さん（五十八歳）が、十一月十六日八幡浜税務署長表彰を受けました。

入学生募集

愛媛職業訓練校

政木さんは、昭和四十八年六月に設立された伊方町青色申告会の結成に力を注ぎ、設立と同時に副会長に就任。五十二年六月からは会長を務められてきました。結成当時、わずか十六人だった青色申告者数を六十二人（五十八年四月現在）に増やした功績などが

- 募集内容
愛媛総合高等職業訓練校で、昭和五十九年度の養成訓練生十五人を募集しています。
- 募集内容
自動車整備科 十五人
塗装科 十五人

町内の交通事故

12月1日現在	発生件数	42件
(11月…4件)	負傷者数	5人
(11月…0人)		

十二月一日現在、県下の交通事故は百十九人。昨年一年間の数に後三人と追ってしまいました。

年間抑止目標百人以下。当初の数字から見ると大幅な増加です。県警では「非常事態を宣言」、十一月から年末までの期間を、交通事故死ストップ八十二作戦」と題して、交通事故防止に努めています。事故防止にご協力ください。伊方・町見駐在所

【お礼】

大阪市東区神崎町三にお住いの、米井忠孝さん（大浜出身）から二万円。広報編集費用にとご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げますとともに、ご二ますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

人

8,687人 {男4,186人(-2人)}
 (-5人) {女4,501人(-3人)}

えんむすび

昭和58年10月1日
 10月31日

お誕生おめでとう

よい子に育ってください
 昭和58年10月1日
 10月31日

おくやみ

昭和58年10月1日
 10月31日

こちら編集室

▽広報担当になるまで、本立てで読者の声をおおっていた。辞書、今では一冊から三冊も紙の上のいちはん手の届きやすいところへ移っています。辞書なしでは文章が進まないからです。

このほど、ある辞書の新版が発売され、

「せい」「びる」などの若者語とか呼ばれる項目も加えられました。むつかしい用語に加えて流行の言葉についてゆくもたいへんです。ちなみに、今年よく耳にしたのは、世界に広げよう友だちの輪……というかな……いいとも。などがありました。

▽今年も残すところわずかになりました。来る年が皆さんにらて長い年でありますように。